

【大江町公共施設個別施設計画とは】

国の「インフラ長寿命化基本計画」(平成25年11月)を踏まえ、本町の行動計画として策定した「大江町公共施設等総合管理計画」(平成29年3月)を上位計画とし、財政状況を踏まえた各公共施設の改修や更新の実施時期の適正化を図るための「個別施設計画」として位置づけられる計画です。

1. 目的

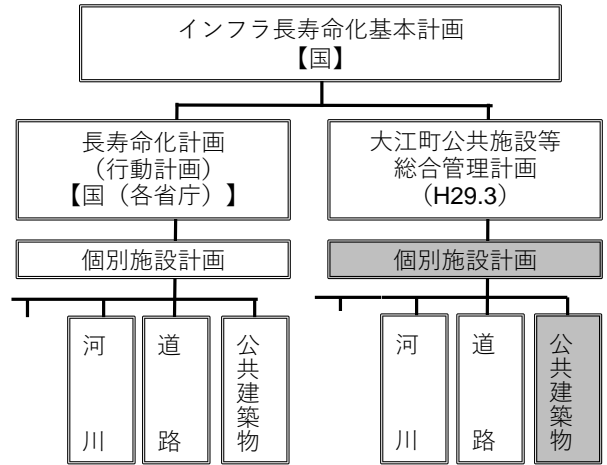
本計画は、公共施設の維持・更新及び予算規模に応じた費用の平準化、優先づけ等を行うことで事業実施の有無や実施時期を適切に判断し、着実な事業実施が可能となる整備方針を示すことを目的とするものです。

2. 計画期間

本計画の計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間の計画を策定します。

3. 対象施設

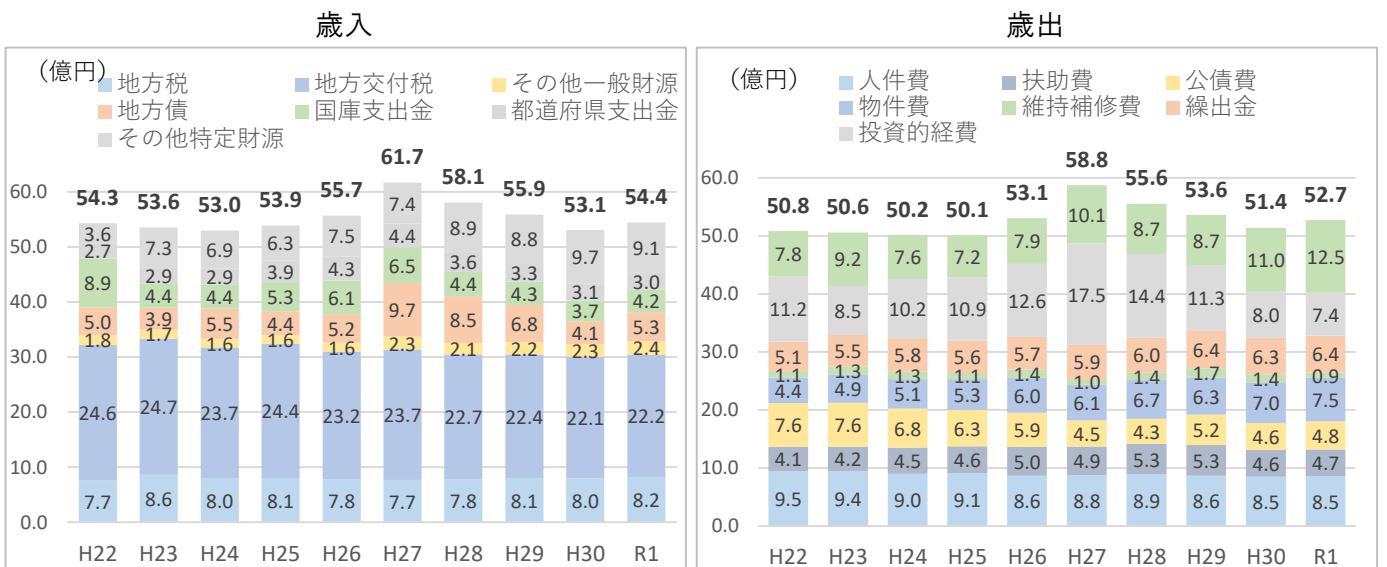
本計画の対象施設は、総合管理計画の対象施設のうち、学校施設等を除く40施設(56棟)とします。



施設分類	施設数	主な施設
コミュニティ施設	8施設(11棟)	体育センター、町民ふれあい会館、中央公民館
福祉・子育て施設	6施設(7棟)	保健センター、にじいろ保育園、本郷東放課後児童クラブ
交流・産業施設	9施設(11棟)	交流ステーション、テルメ柏陵・健康温泉館、山里交流館
農林施設	11施設(21棟)	大山自然公園、柳川温泉、小倉交流館
行政施設	6施設(6棟)	役場庁舎、消防団ポンプ庫、旧ひばり保育園

4. 歳入・歳出

本町の平成22年度～令和元年度までの過去10年間の歳入は53.0～61.7億円台で推移しています。歳出は50.1～58.8億円台で推移しており、公債費は緩やかな減少傾向、維持補修費は増加傾向にあります。



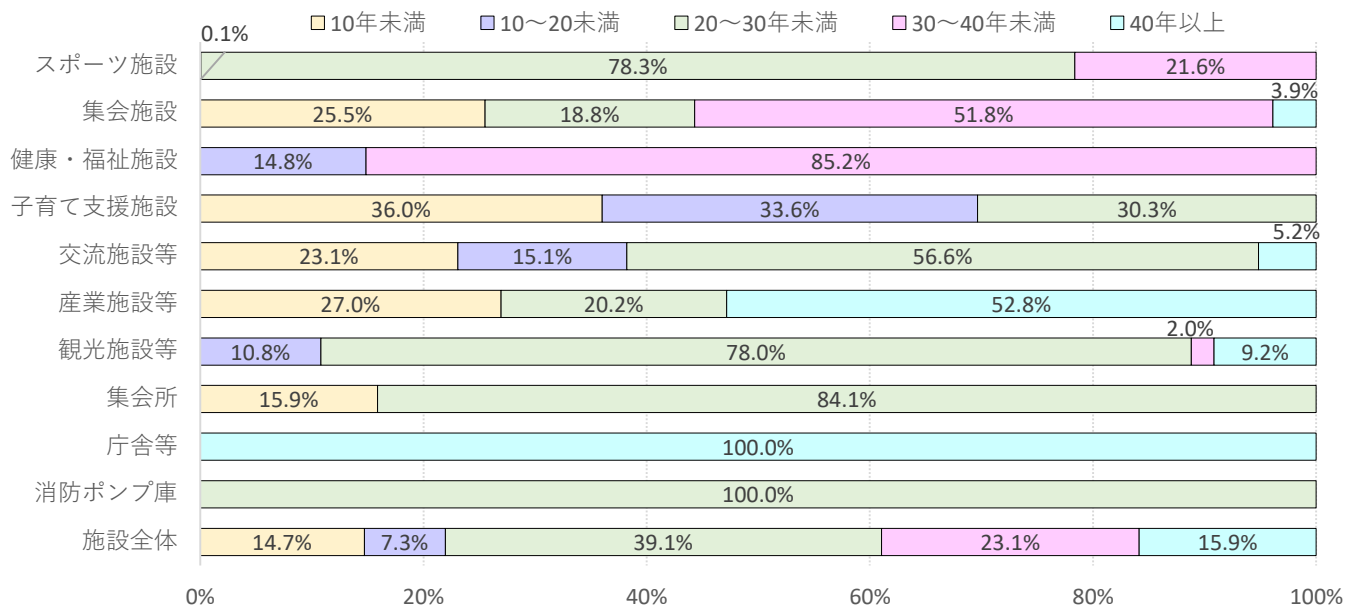
5. 施設状況

- 施設全体の経過年数別延床面積割合をみると、経過年数20年以上30年未満(平成2年～11年竣工)の施設が39.1%で最も多くなっています。
- 建設されてから30年以上経過している施設の延床面積の割合は4割近くになります。中でも庁舎等の老朽化が進んでいます。



更新時期の集中により、**多額の更新費用が必要**になることが予想されます。

■経過年数別延床面積の割合



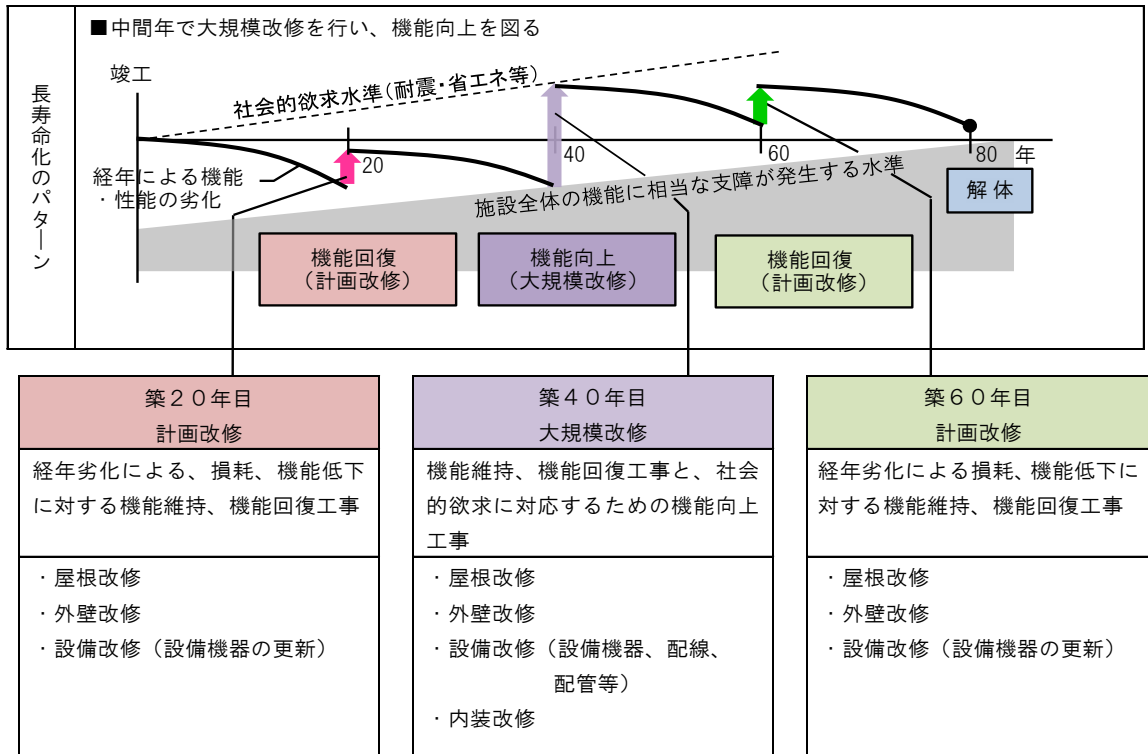
6. 施設の劣化状況

建築物に係る「屋根、外壁、開口部、内部、電気設備、給排水設備、電気・防災設備」の7項目について、部別別に目視調査及び評価を行いました。

項目	現況劣化度				
	A	B	C	D	
	概ね良好	良好	劣化が進んでいる	著しく劣化している	
経年劣化度	a 10年未満	<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館 にじいろ保育園 本郷東放課後児童クラブ やまがた地鶏食鳥処理施設 			
	b 10年以上 20年未満	<ul style="list-style-type: none"> にじいろ保育園 (旧わかば保育園) 	<ul style="list-style-type: none"> テルメ柏陵・健康温泉館 交流ステーション 		
	c 20年以上 30年未満	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅テルメ柏陵案内センター 勤労者総合福祉センター 大山自然公園 (サニタリーハウス) 大山自然公園 (簡易宿泊施設A,B,C,D,F) 第3分団自動車ポンプ場 	<ul style="list-style-type: none"> 体育センター 山里交流館(体育館) 旧さくら保育園 町民ふれあい会館 大山自然公園 (屋外炊事施設) 大山自然公園 (簡易宿泊施設E) 大山自然公園(屋外便所) 	<ul style="list-style-type: none"> 山里交流館(校舎) 柳川温泉 大山自然公園 (管理棟) 	
	d 30年以上 40年未満		<ul style="list-style-type: none"> 保健センター 小鳥山スキー場 (休憩小屋) 	<ul style="list-style-type: none"> 西地区体育館 	
	e 40年以上		<ul style="list-style-type: none"> 役場庁舎 克雪管理センター 		<ul style="list-style-type: none"> 小漆川倉庫

7. 改修の考え方

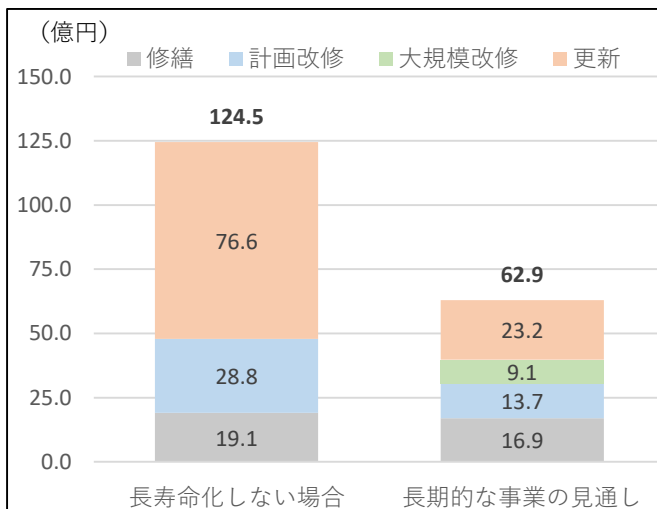
- 限られた財源の中で施設を適正に維持保全していくため、計画的な改修による施設の長寿命化や更新時の複合・集約化による施設の統廃合などにより、財政負担の軽減・平準化を図ります。
- 長寿命化対象施設については、RC造の場合築後20年目、60年目に経年劣化による消耗や機能低下に対する機能維持・回復のための工事として計画改修を実施します。
- 築40年目には機能維持・回復のための工事に加えて、省エネ性能や町民サービスの向上など、社会的欲求の高まりへ対応するため、内装改修も含めた大規模改修を実施します。
- 長寿命化対象外施設については、施設の使用期間中は安全性・機能性に著しい不具合が発生した場合や経過年数等に応じて施設点検を実施し、同様の不具合等が確認された場合に修繕を行うなど、経常改修による対応を行います。



8. 長期的な維持管理・更新等に係る概算事業費の推計

令和3年度から令和31年度の30年間で必要となる維持管理費を試算しました。長寿命化及び施設の統廃合を図った場合、年間の維持管理費が約2.1億円となり、長寿命化をしない場合と比べて、年2.0億円、30年間で約61.6億円の維持管理費が削減できると見込まれます。

■ 長期的な事業の見直しによる縮減効果



(億円)

	30年間で要する事業費	年間で要する事業費
長寿命化しない場合	124.5	4.1
長期的な事業の見直し	62.9	2.1
縮減効果額	61.6	2.0

9. 基本方針

運営・管理の方針

- ① 直営
委託が難しいと考えられる施設は町で管理・運営を図ります。
- ② 委託
可能な限り直営施設は、施設の運営、建物の維持管理に係る業務の一部について、委託による運営・管理を進め、施設サービスの充実や経費削減を図ります。
- ③ 指定管理
直営施設や委託により運営・管理する施設は、指定管理者制度を導入し、施設サービスの効率化や経費削減を図ります。
- ④ 貸付
同じ用途の民営施設が立地する施設は、貸付による運営・管理を進め、施設サービスの民営化による経費削減を図ります。
- ⑤ 譲渡・廃止
指定管理者制度や貸付により運営・管理し、同じ用途の民営施設が立地する施設は、適正な施設サービスの維持を前提とした施設譲渡による民営化を進めます。譲渡ができない場合は用途を廃止し、解体とします。

適正配置の方針

- ① 類似施設の集約
利用目的が同じような施設は、各施設の利用状況や立地状況を踏まえ、大規模改修・更新時に集約化を進め、施設数、保有量を適正化します。
- ② 近隣施設の複合・集約化
立地が近接する施設は、施設の老朽化や利便性を考慮しつつ複合・集約化を進め、施設数、保有量を適正化します。
- ③ 拠点への複合・集約化
身近な施設が集積している場所への立地誘導を進めるとともに、中心拠点・地域拠点への複合・集約化を進め、施設数、保有量を適正化します。
- ④ 大規模施設への集約化
老朽化が進む小規模な施設の保有量を適正化します。

更新の方針

各施設の目標使用年数を延床面積と構造から右表のように設定しました。

目標使用年数に達した施設の更新については、適正配置の方針及び各施設の立地特性や規模等を考慮し、類似施設や周辺施設の機能の集約化も見据え、適正規模の建替えを行うこととします。

構造種別	規模	目標使用年数
木造以外	概ね800㎡以上	80年
	800㎡未満	60年
木造	概ね800㎡以上	80年
	800㎡未満	50年

10. 実施計画

計画期間では、以下の事業を予定しています。

施設名称	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)	2026年 (R8)	2027年 (R9)	計画改修	大規模改修	更新
								2028年 (R10)	2029年 (R11)	2030年 (R12)
体育センター	自火報更新									
西地区体育館					計画改修					
克雪管理センター		耐震診断								
保健センター		大規模改修		大規模改修						
にじいろ保育園	屋根改修									
交流ステーション	屋根改修									
道の駅テルメ柏陵案内センター			更新							
テルメ柏陵・健康温泉館	屋根改修					計画改修	計画改修			
勤労者総合福祉センター						計画改修	計画改修			
山里交流館（校舎及び体育館）								計画改修	計画改修	
山里交流館										計画改修
柳川温泉	空調設備改修									